

第3章

カリキュラム・マネジメントの実現のための 参考資料集

第2章「カリキュラム・マネジメントの実現に向けた実践事例とその工夫について」でご紹介した各校の作成資料を、ジャンルごとに分類してダウンロードできるようにしましたので、ぜひご活用ください。内容の詳細については、第2章の各校の取組みのページを参照してください。

<留意点>

- 各資料は、二次元コードよりアクセスし、ダウンロードすることができます。各校の実態に合わせて加工していただいても構いませんが、学校HPに掲載する等、データの再配布はしないでください。
- 各校において、本章に掲載された資料を活用いただく際に、資料を作成した当該校に問い合わせをしたり、使用許諾を求めたりする必要はありません。

第3章 カリキュラム・マネジメントの実現のための参考資料集

1. 「計画（Plan）」に関する参考資料

- (1) カリマネ表（単元配列表）を作る
- (2) 単元の評価規準等を明確にする

2. 「授業」に関する参考資料

- (1) 指導案を改善する
- (2) ワークシートを工夫する

3. 「評価（Check）」に関する参考資料

- (1) 教職員が授業について相互評価をする
- (2) 子どもたちの変容を知る

4. 「情報共有・発信」に関する参考資料

- (1) 教職員・子どもが意識を共有する
- (2) 校内・校外に向け通信を発行する

1. 「計画 (Plan)」に関する参考資料

(1) カリマネ表 (単元配列表) を作る

令和2年度 熊取町立西小学校 5年 カリマネ表 (食育に係る教科・領域・単元について)
 学校教育目標 自ら学び、心豊かにたくましく生きる子どもたちの育成～一人ひとりが輝く学校づくりを通して～ めざす子ども像 ・すすんでる子 ・なかよくする子 ・元気な子

**食育でつなげるとこうなるけど
研究教科(理科)ではどうなる？**

職員全員で取り組むと職員同士の
コミュニケーションが図れる。

熊取町立西小学校 P.7



それぞれの取組みを教科等横断的な視点でつなげ「見える化」し、6年間を通して系統立てながら考えた。

令和元年度 4年 学年目標「みんなで学び、みんなで成長しよう」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事 (特活)	校外学習 (クリーンセンター) 土曜参観 (道徳)						遠足	マラソン大会				
総合		環境学習										
外国語		ALTの自己紹介 Hello! How are you? I like blue										
国語	白いぼうし How many? 一つの花											
算数	折れ線グラフ 角の大きさ わり算ひっ算											
社会	ごみについて											
理科	春の自然 (へちま ひょうたん)											
音楽	・にっぽんのうた (はじめのうた さくらさくら) ・リコーダー (サミング集)											
図工	自分いりがみ											
体育	運動会 練習											
道徳	朝がくると 目覚まし時計											

和泉市立北池田小学校 P.11



国語科を要とした教科横断的な視点を広げられるよう、単元を提案・公開した。また、グランドデザインの作成、見直しを図った。

図6. ひと・まち・つながる教育におけるカリキュラム・マネジメント年間計画

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	地域
4月	給食指導(生活)		神のええとこ発見だ	見つめよう 私たちのくらし	自分たちの食について見つめ、できることを考えよう	ひと・まち・つなげよう	
5月	梅干し作り(生活・国語)		梅干し(総合・理科・国語)	梅干し(総合・理科・国語)	梅干し(総合・理科・国語)	梅干し(総合・理科・国語)	地域の方(梅干し管理者)
6月	生活習慣調査(生活)	体力測定・生活習慣調査(保健・体育)	田植え(生活)	田植え(総合・理科)	田植え(社会・総合)	田植え(総合・理科)	体力測定(ボランティア・和大使) 地域の方(水田管理者)
7月	梅干しづくり(生活・国語)		梅干し・梅ジュースづくり(総合・理科・国語)	梅干し・梅ジュースづくり(総合・理科・国語)	梅干し・梅ジュースづくり(総合・理科・国語)	梅干し・梅ジュースづくり(総合・理科・国語)	地域の方(梅干し管理者)
8月			椎魚放流(理科・総合)				
9月	稲刈り(生活)		稲刈り(総合・理科)	稲刈り(社会・総合)	稲刈り(総合・理科)	稲刈り(総合・理科)	地域の方(水田管理者)
10月	手まり寿司づくり(生活・国語)		手まり寿司づくり(総合・国語)	手まり寿司づくり(総合・家庭科)	手まり寿司づくり(総合・家庭科)	手まり寿司づくり(総合・家庭科)	手まり寿司づくり(総合・家庭科)
11月	ふれあい喫茶(音楽・生活・道徳)		ふれあい喫茶(音楽・総合)	ふれあい喫茶(音楽・総合)	ふれあい喫茶(音楽・総合)	ふれあい喫茶(音楽・総合)	ふれあい喫茶(音楽・総合)
12月	音楽発表		みさきめぐり(社会・総合・外国語)	見つめよう私たちのくらし(社会・総合・理科)	食の安全(社会・総合)	逆さ言葉(総合・国語・社会)	町長・町議会議員 神町教育委員会 保護者 地域の方
1月	保幼小交流(生活)		音のくらし(社会・総合)				
2月	生活習慣調査(生活)		生活習慣調査(保健)	生活習慣調査(保健)	生活習慣調査(保健)	生活習慣調査(保健)	
3月							

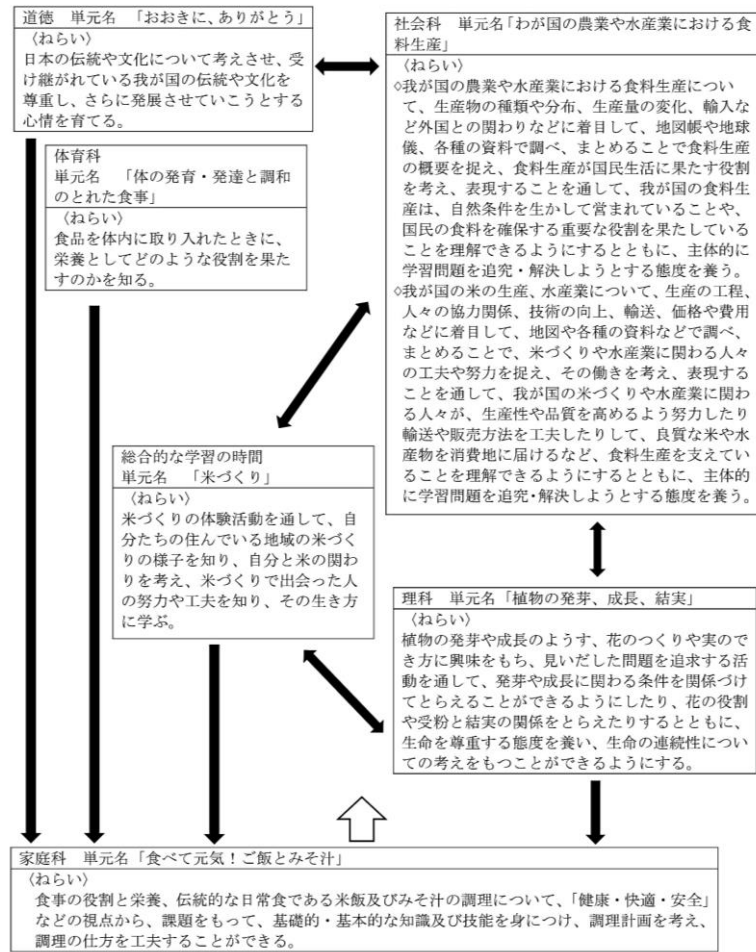
深日小の年間行事と各学年の学習内容をもとに岡田作成

岬町立深日小学校
P.10・11



各学年の取組みを、「体づくり」・「健康教育」・「食育」の視点で、教科等横断的な視点からカリキュラム編成した。学年単位で実施する取組みと、6年間学び続ける取組みのつながりが明確になった。

「つながり」相関図



熊取町立西小学校
P.12



年間指導計画を俯瞰的に捉え、さらに学年の教員で「食に関する指導」に係る単元等を線でつなぐことにより、教科間の学習内容・単元の「ねらい」のつながりの相関が「見える化」できた。

1. 「計画 (Plan)」に関する参考資料

(2) 単元の評価規準等を明確にする

6年生 【C 読むこと】 物語教材		中心教材と言語活動				
学年目標	知・技	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	生お「サ	を大「風	か、平	書「海
	思・判・表	筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。	給好「切	に表「物	せ、平	座談「生
	態度	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	方人「つ	に物「つ	和に「シ	会を「ま
<<対話的な学びのための作法>> ・叙述に根拠（どこからそう思うのか）を求める。 ・自分と同じところ、違うところを伝え合う。 ・「～が言っているのは、こういうこと」と代わりに言えるくらいまでよく聞く。 ・分からないことは、くわしく聞き返す。		わに「の	て、の「さ	。お登	を「を	「の
【知・技】	読書	オ.日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに関与することに気付くこと。	わ「の	お登	を「を	「の
【思・判・表】	構造と内容の把握	イ.登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。	わ「の	お登	を「を	「の
	精査・解釈	エ.人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	わ「の	お登	を「を	「の
【C読むこと】	考えの形成	オ.文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。	わ「の	お登	を「を	「の
	共有	カ.文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	わ「の	お登	を「を	「の
【知・技】	言葉の働き	ア.言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。	わ「の	お登	を「を	「の
	語彙	イ.思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、五感や言葉の使い方に対する感	わ「の	お登	を「を	「の
	表現の技法	ク.比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。	わ「の	お登	を「を	「の
学習用語	音読・朗読	ア.文章を音読したり朗読したりすること。	わ「の	お登	を「を	「の
	・登場人物の関係（人物相関図）		わ「の	お登	を「を	「の
	・朗読		わ「の	お登	を「を	「の
	・心情の変化		わ「の	お登	を「を	「の
	・推薦する（他の作品や叙述と比較して、固有のよさを明確にする）		わ「の	お登	を「を	「の
	・読書座談会		わ「の	お登	を「を	「の

枚方市立招提小学校 P.16



Excel版



PDF版

言語能力の育成計画を
資質・能力毎に整理し直し、
1年から6年まで見通せる表
「招提小オリジナル系統表」を
作成した。

つながりを生かした指導のゴール

記入日： 年 月 日

年生

教科・単元名

単元目標

評価規準

	知識・技能	思考力・判断力・応用力	学びに向かう人間性
評価規準			
学習活動に即した具体的評価規準			

教科・単元名

単元目標

評価規準

	知識・技能	思考力・判断力・応用力	学びに向かう人間性
評価規準			
学習活動に即した具体的評価規準			

研究テーマや「めざす子ども像」により迫るために、「つながり」を生かした授業デザインを学習指導案に明記できるように「授業デザイン計画シート」を作成した。

摂津市立摂津小学校
P.10



問題解決的な学習の展開

臓器移植を巡る迷いをもとに生命の尊さについて問題解決的に学習する展開である。中学生の時期は、身近な人の死に接したり、自分の命のありがたさを感じたりする経験がまだ少ないと考えられる。臓器移植を巡って自分や身近な人の生命について深く考えさせることで、生命のかけがえのなさや、尊重する態度を深めたい。

学習指導過程 総時間：約5分	導入 展開 終末	実物の臓器提供意思表示カード 臓器移植の手続きを受け助かった人の手記など
	学習活動	指導上の留意点【発問の意図】
導入3分	1 臓器移植について知る。 発問○臓器移植や臓器提供意思表示カードについて知っていますか。 臓器提供意思表示カードの具体物を見せる。(発問書)	○臓器移植に関する知識の共有化を図る。適宜、脳死についてなど情報を補足する。
展開15分	2 教材「臓器ドナー」を読み、考える。 発問①【問題をつかもう。】臓器移植を巡っては、どんな迷いや問題があるだろう。 ・生と死について。 ・臓器はほしいが、あげたくない。 発問②【自分で考えてみよう。】自分の意思を臓器提供意思表示カードに書き込んで、班で意見を交流しよう。 ・自分の大切な娘だから、自分勝手ではないと思う。 ・大切な家族なので、亡くなくても大切にしたいから。 ★発問③【問題について考え、議論しよう。】臓器提供の意思表示をしていない家族が脳死した場合、臓器提供することができるか、できないか、また、その理由を書いて、班で交流しよう。 ・班で紙に意見をまとめる。 ・班で意見をまとめたら、他の班の紙を見に行く。	○教材を読んで感じたことを出させながら、以降の発問で自分の問題（自分事）として考えられるようにする。 ○生命に関する判断は重く難しいものであり、だからこの命のかけがえのなさについて深く日覚し尊重することが必要であり、正しい答えなどないことに気づかせる。 ○自分の命だけではなく、大切な人の命についてもどう判断するかを考えさせることで、生命尊重に關わって自分なりの道徳的判断に意図が向くようにする。 ○班で意見を共有し、互いの考えを理解し合う。
終末5分	3 今日の学習を振り返る。	○教材中の人物や友達など、生命に対するさまざまな価値観に触れたうえで、今の自分の生命に対する思いを振り返らせたい。

<p>○臓器移植を巡る迷いや問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生と死について ・臓器はほしいが、あげたくない ・自分の命とほかの人の命 	<p>情報 ・生計に意思表示。</p>	<p>臓器ドナー 臓器提供意思表示カード</p>	<p>板書例</p>
--	-------------------------	------------------------------	------------

16	自他生命の尊さ 臓器ドナー	教科書 96～99ページ
<p>（1、2、3、いずれかの番号を○で囲んでください。）</p> <p>1. 私は、<u>脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも</u>、移植のために臓器を提供します。</p> <p>2. 私は、<u>心臓が停止した死後に限り</u>、移植のために臓器を提供します。</p> <p>3. 私は、臓器を提供しません。</p> <p>（1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。） 【心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球】</p> <p>（特記欄： 署名年月日：____年__月__日 本人署名（自筆）：_____ 家族署名（自筆）：_____</p>		

考えてみよう 臓器提供の意思表示をしていない家族が、脳死した場合、臓器提供しますか？

【はい・いいえ】
理由

振り返り 今日学習で気づいたことや考えたことをまとめてみよう。

自分への振り返り ○印をつけよう。

今日の授業の内容は	印象に残った	— — — — —	印象に残らなかった
友達の見聞や話し合いから、新しい発見や気づき	あった	— — — — —	なかった
自分の考えを深めることが	できた	— — — — —	できなかった
これから大切にしたいことが	わかった	— — — — —	わからなかった



指導案データ



ワークシート

「表現力」「コミュニケーション力」を教科等横断的に育成していくことをめざし、4人班を基本とした学習形態を推進し、考えたアイデアを書き出すことができるよう、各班に1枚のホワイトボードを活用した授業づくりを進めた。その際の指導案とワークシートである。

○本時の評価基準

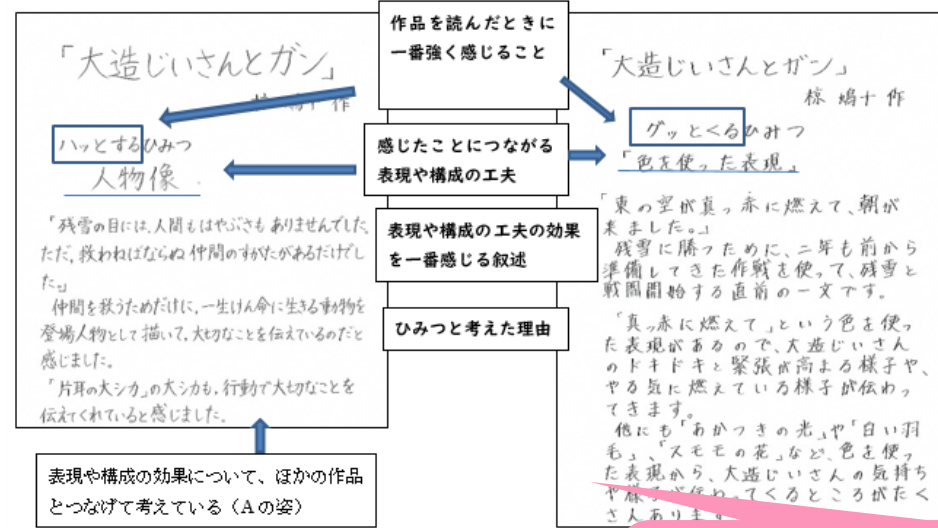
- ・自分が選んだ本の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、読んだときに感じたことをまとめている。【C読むことエ】

具体的な子どもの姿

指導者の発問や声かけ

時間	主な学習活動	指導上の留意点	【観点】評価規準 (評価方法)
5	単元のゴールと今日のめあてを確認する。 自分の選んだ作品の〇〇のひみつを紹介しあう	・何のための一時間なのか、本時とゴールのつながりを意識させる。 単元のゴールでは何をしますか？	
	自分が選んだ作品の疑問や聞きたいことを考えて交流し、自分なりの考えを持とう		
5	自分が紹介したい作品を読んで、疑問や確かめたいことを考え、付箋を貼る。 【付箋を貼る視点】 ・どうして？(疑問) ・これって…(確かめたい)	・同じ作品を中心にグルーピングしておく。 ・疑問や聞きたいことが思い浮かびにくい児童が予想されるので、個人で学習する時間の配分に配慮する。	
10	疑問や聞きたいことが思い浮かばなかったら友達に聞いてみる 【思い浮かんでいない児童】 「どこに線をひいたの？」 「どうして？」 【疑問に対して自分の考えをもつ児童】 「それはこういうことじゃないかな」	・友達に聞いて疑問が生まれたら線を引いて付箋を貼るようにする。 ・交流の中で疑問に対する答えを見つけた場合は、付箋に書いてノートにはらせる。	
15	疑問や確かめてみたいことを交流して、自分なりの考えを持つ ・「どうしてこんなことしたんやろう？」 ・「自分はこう思っているんだけど、どうかな？」 ・「〇〇さんは、どう？」	・交流の状態によって、グループ以外の児童と交流させる場面も想定しておく。その際、目的に合わせて交流できるよう、だれがどの本を読んでいるのか、一目でわかるように名簿を掲示しておく。	
10	自分が紹介する作品を読んだときに感じたことをまとめる 「自分が選んだ作品は〇〇お話です。なぜなら～」	・作品を読んで感じたこととその理由を書くて、次時のひみつを探す活動につなげるようにする。	・自分が選んだ作品の人物像や物語の全体を具体的に想像することができる 【読むこと エ】 (ノート)

○言語活動モデル



言語活動の内容が伝わるように具体的に示す。

(例)

- ・どこで、どのようなことを表現させているのか
- ・どこで、どんな力を見取るのか など

和泉市立北池田小学校
P.14・15

質の高い言語活動を実現するために、年度途中に次年度の指導案モデルを検討し、次のような内容を記載する形にリフォームした。

- ・並行読書材について
- ・言語活動モデル
- ・具体的な子どもの姿 等

リフォーム後の指導案には単元で児童が作成した成果物や単元のふり返り、単元後のアンケートの集計結果なども載せることにした。これを次年度の校内研究の指導案に生かせるように内容を検討し、次年度の指導案モデルの作成を行った。

(2) ワークシートを工夫する

令和2年度 1年生総合学習

()組()番 名前()

1. 予想を立てて、仮説を立てよう!

総合学習では、

- ① 予想を立てる ⇒ なんでかな?こうかな?
- ② 仮説を立てる ⇒ きっとこうしたら解決できる!
- ③ 調べる ⇒ 本当かな?確かめよう!
- ④ 自分の意見を持つ ⇒ こうしたらいいんだ!
- ⑤ 発表する ⇒ こうなんです!!

という、流れて学習を進めます。

練習 曲がったキュウリがあるのはなんでだろう?

(予想)キュウリが曲がる理由は

(仮説)きっとこうしたら曲がらない!

2. SDGsのゴール16について知識を深めよう!

YouTube 動画・・・「SDGs目標16平和と公正をすべての人に。優しい気持ちで平和をつくる!」



学習計画



ワークシート

令和2年度 1年生総合学習計画

- 事前学習
休校中の学年の課題でSDGsゴール16、技術・家庭科にてSDGs環境面について学習済み
- 1学期の学習目標
 - ① SDGsについて知る ⇒ 総合開きて学習済み
 - ② 探究的な学習の方法(特に「課題設定」と「仮説を立てる」ことの大切さ)を理解する
- 1学期の学習内容
 - ① SDGsの目標16を利用した探究活動 10h ⇒ 無理なので6h+2学期
 - ② 夏休みを利用して企業訪問 ⇒ コロナで無理なので諦める
- 新**1学期の学習内容
 - ① 用意されたゴール16に関する8つの課題設定から選ぶ
 - ② 班でその課題が起きている理由を予想する(道筋をたてる)
 - ③ 班で課題解決に向けた仮説を立てる
 - ④ 調べ学習で探求する
 - ⑤ 自分の考えを述べる
 - ⑥ 班で協力してポスターを作る/ワールドカフェ方式で発表

1学期中の授業で

夏休みの課題

2学期中の授業で
- 設定する課題を班で1つ選択する
 - ① 違法な武器の取引はなぜ起きる?
 - ② 出生登録を含む法的な身分証明が発行されていない国があるのはなぜ?
 - ③ テロリズムの撲滅に対して日本はどんな対策をしている?
 - ④ 内紛が起きる原因ってなんだろう?
 - ⑤ 企業をめぐって国の競争を終わらせるには?



1年間の総合的な学習の時間の計画に基づき、各教科の授業において育成した資質・能力を、どのように総合的な学習の時間につなげることができるのかを意識して、ワークシートを作成した。

枚方市立第一中学校 P.13

3. 「評価 (Check) 」に関する参考資料

(1) 教職員が授業について相互評価をする

授業参観シート

日時: ()月()日()時間日
 授業者: ()先生 教科()
 参観者: ()

① 11月6日公開授業で1回参観してください。
 ② 11月2日～11月13日までの期間で1回以上参観してください。

「中がめざす子どもの姿」 学校グランドデザイン

- 学んだこと、経験したことを生かして自ら設定した課題を解決している
- 自分の考えや思いを他者と交流することで学びを深めている

① 授業を見る観点を下の表から選んで参観してください。(すべてに記載する必要はありません)

観点	見つけた工夫やアドバイス
生徒が主体的に学習をすすめている工夫	
他者と交流することで学びを深める工夫	
生徒同士がつながりを持てる工夫	
生徒の学びを定着させる工夫	
板書の工夫	
生徒の学びを深める発問の工夫	
課題(プリントや教具)の工夫	
個に向けた指導の工夫	
生徒の学びを見取る工夫	

② 授業者の先生に質問/メッセージを書いてください。

※参観シートは授業者へ原本を、学力向上担当まで写しを渡してください。複写して使用してください。

枚方市立第一中学校 P.11

相互参観授業週間を学期に1回定め、他の教科でどのような取り組みをしているのか実際に目にする機会を作り、教職員が互いに刺激を受けながら、授業を改善していけるように工夫した。



年生 | 評価者: _ | 記入日: 年 月 日

実践のねらい・この実践を行った理由

↓

つながりマップ

実施時期 | 必要な人・モノ

必要な時間

ここがよかった! こうすりゃよかった!

研修で使用したワークシート

学期ごとに、児童の姿から「つながりを生かした取り組み(カリキュラム)」を振り返り、「ここがよかった」「こうすりゃよかった」と意見を出し合いながら「成果と課題」を明らかにした。

また、前年度の学年担任とともに次学期のカリキュラムの見直しを行い、各単元の学習内容をイメージしたり、前年度の成果を生かしたりできるようにした。

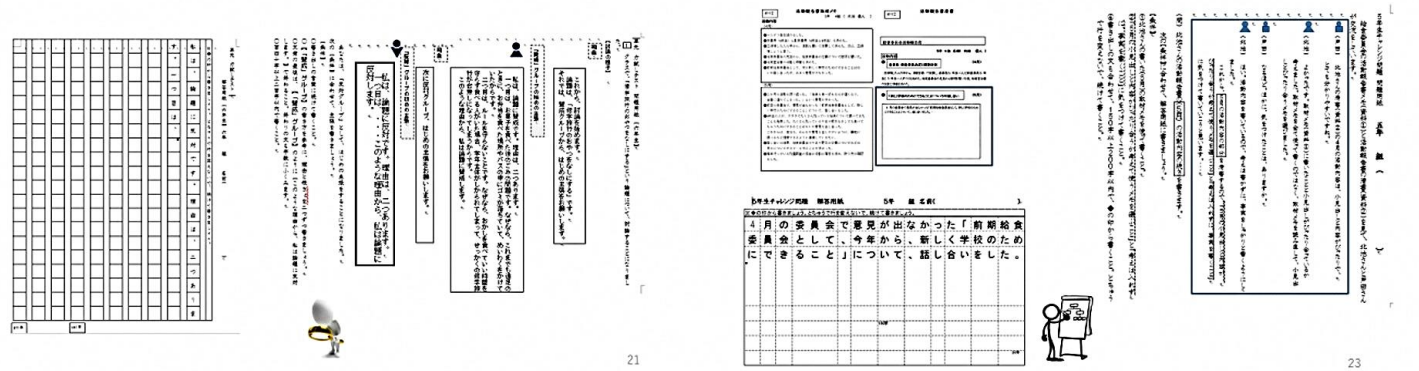
摂津市立摂津小学校
P.12



(2) 子どもたちの変容を知る

(学力向上担当者の活用)

②実践 単元末の力だめし問題・アンケート の作成・実施 (4年生以上)



和泉市立北池田小学校 P.10

短い期間で、効果を定量的・定性的に見取り検証する経験を積み、教員一人ひとりの子どもたちの姿を見取る力の向上をめざし、共同研究した単元（4年生以上）で、学力向上担当者が学年教員と協力して単元末力だめし問題・アンケートを作成し実施した。



4年生アンケート



6年生アンケート



5年生問題用紙



5年生解答用紙

授業についてのアンケート 6年 組
 単元名:【一番強く感じた習字書写ワールドを総括で表現しよう】 名前

		うーん うーん	うーん	あまり うーん	うーん
1	一番強く感じた習字書写ワールドを総括し、レコーディングする活動を楽しむことができましたか。				
2	友だちと交流することで、新しいこと気づいたり、考えたりするヒントになると感じましたか？				
3	「言葉のひびきで様子を表す言葉」や「ひび表現」について理解することができましたか。				
4	自分のリハール相手を聞いて、相手を意識する学習は、相手をよりよくするために役立ちましたか？				
5	自分の考えや思いを相手によりよく伝えるためには、「読み方の工夫」を考えると良い（自分の思いや考えがよりよく伝わる）と感じますか？				

当てはまるところに○をつけてください

★ 相手を意識して書について自分の感じたことを伝える力は、これからどんな場面でもかかせると感じますか？

自分の生活を記録しよう！

3年 名前

1. 自分の生活の目標を決めよう。(例) 10時までに寝るぞ！ 毎日少しでも運動する。

目標 少しでも運動をしたい!!

2. 今日の新起きた時間と、昨日の夜寝た時間に○をしましょう。

3. スマホ・テレビ・ゲームの時間に線を引きましょう。(例)

6月18日(月)～6月24日(日)

記入例	朝			昼			夜			スマホ・テレビ・ゲームの時間	4. ごはんを食べた		5. 体を動かす運動、遊びをした					
	5	6	7	8	9	10	11	12	1		2	3	4	朝ごはん	夜ごはん	大休	昼休	放課後
記入例	○	○	○							ゲーム	△	○	○	○	×	×	計	30分

月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	計	30分	R								
月	○	○	○																							15分	○	△	○	○	×	×	計	30分	R OK!
火	○	○	○																							4分	○	○	○	○	×	×	計	30分	R
水	○	○	○																							10分	○	○	×	/	×	×	計	0	OK
木	○	○	○																							10分	○	○	×	×	×	×	計	0	OK
金	○	○	○																							50分	○	○	○	○	×	○	計	10分	
土	○	○	○																							10分	○	×	/	/	×	×	計	0	OK
日	○	○	○																							10分	○	○	/	/	×	×	計	20分	OK

目標達成は・・・? できた ・ だいたいできた ・ あまりできなかった ・ できなかった

6. 自分の生活を振り返って、より元気に生活するために次はどうしたらいいか書きましょう!

もう少し運動する時間をいやす。楽しい運動イベントから運動がでてる。

すばらしい! 楽しく運動できたから

生活習慣調査を年間2回実施している。子どもたちが自分自身の生活習慣の課題を見つけやすいように、時間軸利用の研究手法をもとに、テレビやスマホ等、自分たちが使った時間を数直線上に記入していくように工夫し、生活習慣を「見える化」した。



4. 「情報共有・発信」に関する参考資料

(1) 教職員・子どもが意識を共有する

信太っ子が授業で大事にする7つのこと

1、丁寧にいきます

(時間を守る、準備する、丁寧に書く、声の大きさ、言葉遣い、
～しながら聞かない、最後までやりぬける)

2、となりの仲間をほっておきません(友だちの悩んでいることを考えられる、一緒に考える)

3、今まで学んだことを活かして考えます

4、自分からわからないことをたずねます(わかるまで聞きます)

5、誰のどんな話もしっかりと考えながら聞きます

6、自分の思いや考えを伝えます(自分の考えを持とうとします)

7、「なんで?」「～だから」と考えます

「学びのフレームづくり」として、主体的に学ぶ子どもの育成をめざし、学校全体でどのように学ぶのか「学び方」の共有を図った。

また、思考しながら主体的に「聴く」ための手だてとして「聴き方の達人」を職員で共有した。「聴いたあと、感想や意見が言える」「聴いたあと、話について質問する」など8つの項目を作り、聴くことを体系的に捉え、視覚化した。



話の聴き方の達人をめざそう!!

①話している人の方を向く

⇒相手を見て、いい姿勢で、うなずきながら、笑顔で、終わりまで聴く。

②聴きながら、心の中で「おしゃべり」する 「考えながら聴く」

⇒「どこでそう考えたのだろう」「自分の考えとどこが同じ(ちがう)かな」「〇〇ってどういうこと」と心の中でおしゃべりする。

③聴きながら、「わからない」ことを発見する

⇒わかったつもりになっていないか。聞き流してしまった言葉がないか。わからないことがあった時は、「〇〇ってどういう意味?」「よくわからないからもう1回言って」と伝え手に言う。

④聴いたあと、話の内容を人に伝える 「リボイス」

⇒本当にわかったというのは、聴いた話の内容を人に話すことができること。

⑤聴いたあと、感想や意見が言える 「自分の言葉に置きかえて受け止める」

⇒相手が言ったことに対して、感じたことや考えたことを自分の言葉にする。毎日、すべての授業で意識させる。

⑥聴いたあと、話について質問する 「訊ねる、確認、問い返し」

⇒わからないから質問するのではなく、もっとわかるために質問をする。「もっと知りたいことは?」「くわしく知りたいことは?」「〇〇さんはどう思う?」「〇〇やんな?」

⑦仲間の話のつづきを想像する

⇒相手が伝えたいこと、困っていることを想像する。一方的に教える関係性ではなく、相手軸をもった対話的なコミュニケーションとなる。

⑧仲間の言葉を引き出す 「寄り添って訊く」

⇒「どう?」「いける?」「ここまでわかった?」「これってどういう意味?」「〇〇ってわかる?」「〇〇の公式を覚えている?」

聴くことを体系的に捉え、視覚化

和泉市立信太小学校 P.7

2学期 「話す・聞く」単元

つきたい力×子どもの実態

言語活動の実践

児童の実態が変われば、

言語活動における児童の様子も変わる！

ブロック学年や今後の実践等にご活用ください。

2学期

「“つきたい力”と“子どもの実態”にぴったり」な言語活動の実践について

つきたい力をおさえているか 子どもにとって何を学ぶかが分かりやすいか

研究・研修部

8月20日の校内研修を受けて、2学期に行った「つきたい力と子どもの実態にぴったり」な言語活動について、実践の様子をお聞かせいただき、学校で共有したいと思います。

児童の様子、また、児童の様子から分かる良かった点・改善点などについて、記入してください。

(例) 児童の積極性や参加率、学習に困り感のある児童がどれくらい参加できているか など

【4年】

1. 単元名

だれもが関わり合うために

2. 本単元でつきたい力

目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。

3. 本単元で行う言語活動

「令和」の新時代をともに生きていくために、だれもが関わり合うための、社会の工夫を調べて発表しよう。

4. 児童の様子、児童の様子から分かる良かった点と改善点など

- 自分で調べたいことを選んでの活動だったので、意欲的に取り組んでいた。
- 情報の分類について、児童が自分の基準で分けられれば良いことにしたので、評価がしやすかった。
- 情報を整理すると発表がしやすいことや、必要な情報と必要でない情報があることに気づけた。

△メモの取り方に課題がある児童が少なくなかったので、引き続き他教科でも行う。

△資料の情報が入ってこない児童への支援がまだまだ不十分であった。(声に出して一緒に読むなどの支援を行った。)

夏季校内研修を受けて2学期に実践した「つきたい力と子どもの実態にぴったり」な言語活動について良かった点・改善点をミニ冊子にまとめて配付し、ブロック学年会で意見交流した。

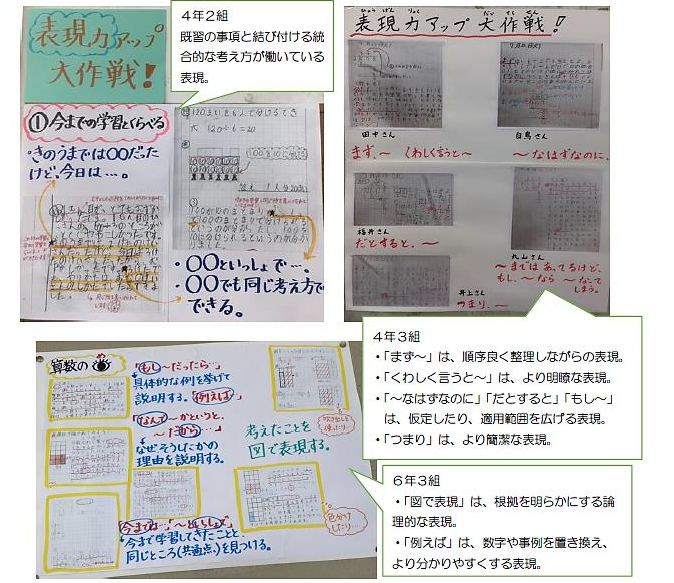


(2) 校内・校外に向け通信を発行する

ハウレ〜カ!

表現するための武器 ～視覚的にはっきり示す～

子どもの言葉には、数学的な見方・考え方が見え隠れするものがあります。見え隠れするからこそ、その言葉を取り上げ、価値づけを行う必要があると考えています。また、授業内で価値づけを行うだけに留まらず、教室に提示し、視覚的にはっきり示すことが大事です。数学的な見方・考え方が働いた表現を継続的に価値づけ、使えるようにしていくためです。以下に挙げるものは、実際に授業やノートに子どもから出てきた言葉です。教師が一方向的に提示している話型ではありません。形式的に言葉を教え込むのではなく、子どもが感覚的に筋ぎだした言葉を取り上げ、価値づけ、意識的に使えるようにしていきたいです。



和泉市立信太小学校 P.10

食育だより

令和元年12月17日
熊取町立西小学校
栄養士 廣田沙紀

「やさしいなかよし 大きくせん!」

12月10日に野菜について学習しました。各学年では野菜について重点的に学習しています。学習をするにあたって、2年生に野菜についてのアンケートを実施しました。

2年生 野菜アンケートの結果

① 好きな野菜を教えてください。誰か好きですか?	39人
② うんちが毎日出ます。	42人
③ ②に比べて野菜が大好きです。	46人

④ どんな野菜が、にがてですか?
トマト・ナス・カリフラワー・パプリカ・さといも・ゴーヤ・ピーマン・きゅうり・大根
水菜・白菜・きんぴら(しいたけ)・ゆめこん・マッシュルーム
セロリ・オクラ・人参・玉ねぎ・ブロッコリー・グリーンピース・コン・レンコンなど

学習の中で、子どもたちに「この結果を見てどのように感じましたか?」と聞いたところ、「野菜を食べないと元気にならない」「すぐ寝てしまう」などの意見がでました。また、野菜の良さについて考え、苦手な野菜をどうにか工夫で食べられるか、ひとりひとり各自ができる「大きくせん」を考えました。

子どもたちがどのような表現をだしていたのでしょうか?一足、聞いてみてください。

学習の様子

大きくせん

ちょっと話しくいけど、うんちの話
今日の授業には、排便の話題があります。排便の話は、子どもたちにとって、恥ずかしくて口に出すことが難しい話だと思います。そこで、学校の図書室にある絵本を使用して、うんちについて話しました。

そのなかで、野菜をしっかり食べるといいうんちが出る、というお話がありました。・・・子どもたちは驚きながらも、しっかりと聞いてくれました。野菜の学習することで、排便の大切さについても学習してもらえたらと思っています。

絵本のなかでのうんちの分類

うんちの分類	原因	症状と特徴
うんちが	下痢のこと。食べすぎによる消化不良や、冷たいものをとりすぎた時に起きます。腸管が冷たくなることで起こります。	
うんちが	下痢ではないが、やわらかめの便。よくかまらずに食べた時、消化不良の時に起きます。	
うんちが	硬い便のうんちです。野菜を十分に食べず(バランスのとれた食事や、規則正しい生活習慣による健康な便から出ます。色はきれいな茶色です。	
うんちが	野菜が不足したときや、または、便秘気味の便。色は黒っぽい。運動不足や水分不足、うんちがまんじりも便秘になりやすいです。野菜など食物せんいの多い食べ物をたくさんとって、規則正しい生活をしましょう。	

「やさしいバカカード」のどくみそ3日間おこししました
12月1日〜3日の3日間、給食の野菜を各自で食べるどくみそを行いました。目標を達成できたカードにシールを貼ることができました。授業で教えた表現をもとに、シールの獲得を目指して頑張っている子がたくさんいました。お父さんお母さんでも実践していただければ、食中にも野菜を食べていただけたらと思います。

熊取町立西小学校 P.9

各学年で取り組んだ、地域の環境や人的資源を活用した「食育」についての体験学習の実践を、栄養教諭が「食育だより」にまとめて発信した。



総合的な学習の時間におけるSDGsに関する取り組みを、ICT活用の視点でとりまとめ、取り組んだことを「見える化」し、市内で情報共有をした。



枚方市立第一中学校 P.12

Hirakata ICT Practical Example Record

HI-PER FILE No.00000

1 ジャンル
中学校1年生 総合的な学習の時間 一斉学習・個別学習・協働学習 教員と児童生徒

2 概要

単元(題材)名
未来の企業はどんなSDGsをしているのだろうか? (全10時間)

単元(題材)目標
企業とSDGsの関係についてSDGsがわかるようになる。一つの企業、一つの国、一つの地域についてSDGsを調べ、SDGsが企業や国や地域にどう影響しているか、その影響をどうにかSDGsで解決できるか考えることができるようになる。

活用したICT機器、アプリケーション等
Google Classroom, Keynote, インターネット検索

本時のめあて
自分が選んだ企業が掲げるSDGsの問題点はなにか調べよう。

本時の展開の概要
前時までに、個人が決定した興味のある職業について、「現在実施しているSDGsの取組」を調べ、本時は「未来に何が得意なのか」という視点で、iPadで検索したり、短時間で意見交換をしたり、自分で感想したり、得意な企業を創造していく。調べた内容は、keynoteでの発表に備えて資料をまとめている。また、同時期に遠隔指導で発表順について学びを進めるカリキュラム・マネジメントも実施した。

ICT機器の活用でねらった効果
keynoteでの発表に備え、事前に各個人にkeynote資料を作成する課題を出したり、英語科が全員の発表の「フーナス」keynoteによる発表の動画を授業に取り入れるなど、生徒の学びやkeynoteを取り扱う技能の習得をマネジメントした。本時の目標「自分自身の考えを持って、他者交流を通して自分の考えを深める」を達成するため、一人ひとりがkeynoteで自分の考えをまとめる。発表することは生徒の資質・能力を育成するために効果的であると考えられる。また、支援が必要な生徒にとっては、紙ベースで資料をまとめるより作業しやすく、主体的に積極的に参加することができている。

児童生徒の様子(成果や課題)
生徒はKeynoteで資料を作成することにはすぐに慣れ、自分の考えや意見を写真や文字を使用して効果的に伝えようとし、意欲的に学習に望めた。アップルならではの直感性により、追加「+」と変更「x」の使い方を指導するのみだったが、アニメーションなどの利用もできるようになった。複数教科で取り組むことで、生徒はかより習得しやすい環境となっている。

第一中学校 名前: 綱川 真也

4. 「情報共有・発信」に関する参考資料

研究授業で明らかになった成果や課題、今後の方向性を話し合い、研究通信を発行し、研究通信を通して、全教員で今後の方向性を共有するとともに、研究授業で明らかになった課題に正対した取り組みの紹介をした。

